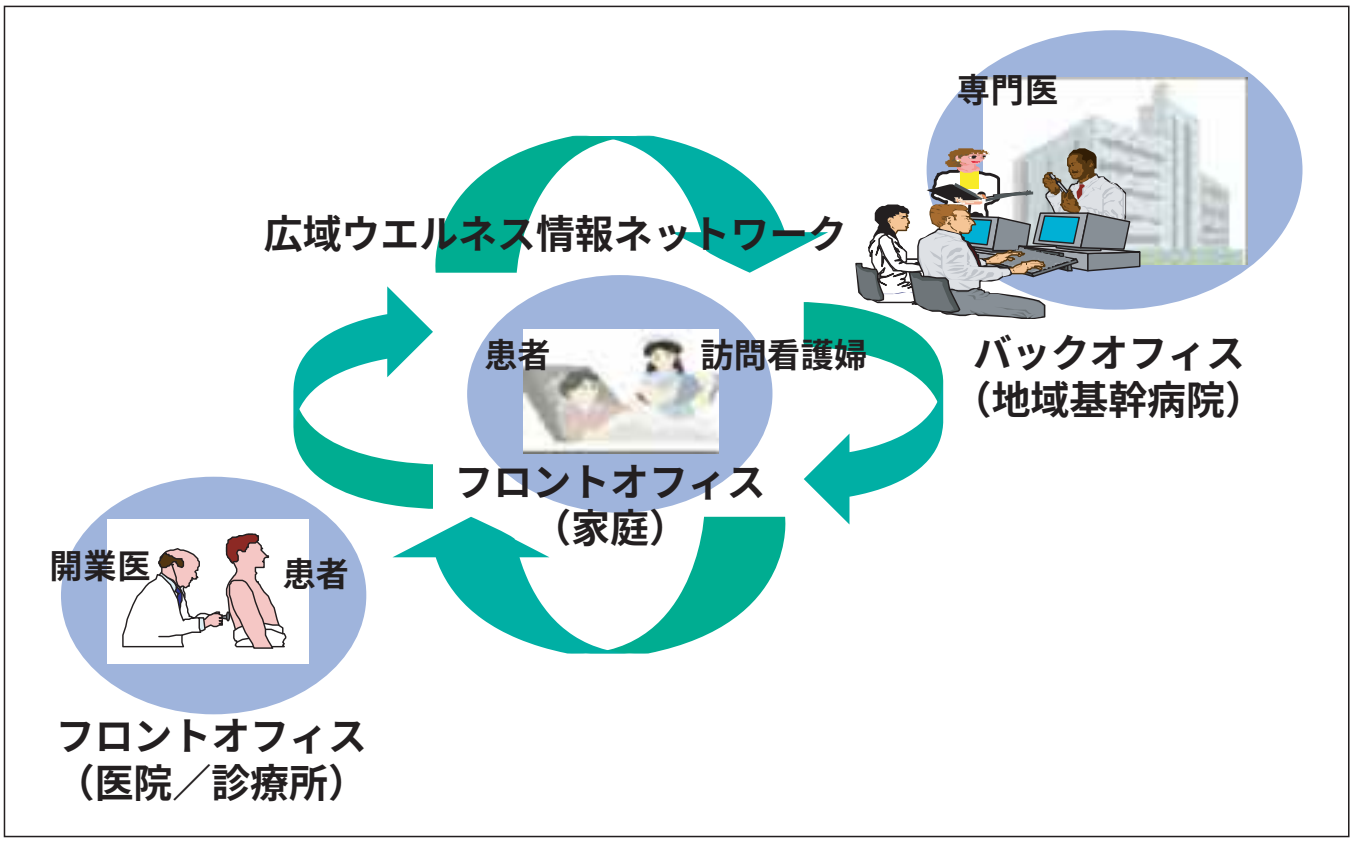
ウエルネス分野のCo.Solution及び遠隔医療を含む広域ウエルネス情報ネットワーク

浅野和彦*
小西秀俊*

要　旨

介護保険導入を控え医療が病院から在宅へとシフトする傾向は今後強まると見られる。保健・医療・福祉環境の多様化の中，総合的情報システムの活用による保健・医療・福祉の合理化・迅速化・正確化が必要で，遠隔医療を含む広域ウエルネス情報ネットワークの導入が試みられており，医療・ウエルネス分野の“Co.Solution”(お客様と一体となって問題解決に当たること。)が求められている。

医療・ウエルネス分野のCo.Solution，それは，少子高齢化社会に多様化する高齢者を始めとする患者の意向にいち早く対応し，その一歩先を行くサービスを実現する支援システムソリューションである。患者のニーズに合ったきめ細かく，質が高く，コスト負担が少ない医療・介護サービス，すなわち“患者のQOL(Quality of Life)”を高めるサービス提供が求められるようになってきた。“患者中心のサービス”のためには，関連する人々による情報共有が必要である。“より多くの患者が満足し，安心できるサービスを提供する。”，これを支援する情報システムソリューションが，三菱電機の医療・ウエルネス分野のCo.Solutionである。



広域ウエルネス情報ネットワークのイメージ

医療・ウエルネス分野のCo.Solutionは，訪問看護・外来診療・往診の患者を顧客とし，訪問看護婦(家庭)や開業医(医院／診療所)等のフロントオフィスと，それをバックアップする専門医(地域基幹病院)のバックオフィスを共有する患者情報を基に，有機的に広域ウエルネス情報ネットワークで結び，安心して療養生活が送れる環境を患者に，また的確な診療業務を遂行できる環境を開業医の先生に提供する。